

研究実施のお知らせ

2020年12月9日

研究課題名：

Loop mediated-isothermal amplification (LAMP)法、GENECUBE®を用いた急性感染発疹症の迅速診断法の確立

研究の対象となる方

2018年1月1日から2020年8月31日までに島根大学医学部皮膚科で皮膚有棘細胞癌、コンジローマ、悪性黒色腫で切除術を受けた患者さんです。

研究の目的

急性感染性発疹症の鑑別疾患には多数の疾患が存在し、最近技術が向上した遺伝子検査を応用して鑑別検査を行います。

研究の方法

この研究は、島根大学附属病院皮膚科診療にて、皮膚腫瘍として切除された病理組織ホルマリン保存検体を用いて、ヒトパピローマウイルスが関連するとされる上記皮膚腫瘍で急性感染性発疹症との鑑別に有用か調べます。ブロック検体から病原体遺伝子を抽出し、病原体遺伝子を増幅して存在を確認します。

研究の期間

2013年10月28日～2023年3月

研究組織

この研究は次の機関が参加して行います。

研究責任者（研究で利用する試料（ブロック検体）・情報の管理責任者）：

島根大学医学部皮膚科 新原寛之

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方から、研究責任者である島根大学医学部皮膚科 新原寛之へお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2021年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部皮膚科 新原寛之
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2402